

2025 年 10 月 24 日

各 位

NSG・AGF を活用した「ゴールドアセットトレジャリー戦略」の構想推進について
～実物資産と Web3.0 の融合に向けた次世代財務基盤の検討を本格化！～

当社は、当社子会社である abc CAPITAL 株式会社（以下、「abc CAPITAL 社」といいます。）を通じて Samsung Goldex 社との提携を進めておりますが、2025 年 6 月 18 日付「[（経過開示）Samsung Goldex との提携推進に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり、NYAN SUNG GOLD Token（以下、NSG）に関する技術的な開発が段階的に進展しております。

こうした取り組みを踏まえ、当社グループでは、NSG および AGF（Nyanmaru GOLD Utility Token）を活用した「ゴールドアセットトレジャリー戦略」の構想を推進しておりますので、現時点での検討状況を以下のとおり、お知らせいたします。

1. 戦略の背景と狙い

当社グループは、Web3.0 時代におけるリアルアセットの有効活用を中長期的なテーマとして掲げており、ブロックチェーン技術と実物資産（Real World Asset：RWA）の融合を通じたエコシステムの進化を目指しております。

その中核的な構想に位置づけられているのが、以下の 2 つのトークンです。

- Nyanmaru GOLD Utility Token（AGF）
- NYAN SUNG GOLD Token（NSG）

これらは、いずれもゴールドを価値の基礎とすることを想定した設計思想を持つものであり、Web3.0 時代における新たなデジタルアセットモデルの可能性を探る位置づけにあります。

特に NSG は、Samsung Goldex が保有する現物ゴールドを資産裏付けとした設計構想のもと、技術的な開発が進行しており、将来的に安定的で実需に基づく金融プロダクトへの展開が期待されています。

2. 現在の開発検討状況とロードマップ

2025年6月時点において、NSGに関するミント処理の基本的なスマートコントラクトは技術検証段階に達しており、今後以下のような機能の実装を前提に、段階的な開発を進めております。

当社グループが想定している主な検討機能は以下のとおりです。

- ✓ ゴールド裏付け資産の証明 NFT との連動機能（UI 設計含む）
- ✓ ミント履歴・供給状況の可視化機能
- ✓ スワップおよび流通経路の検討
- ✓ DEX/CEX を通じた流動性確保モデルの設計
- ✓ DAO 的ガバナンス導入に向けたインフラ調査

なお、これらの機能は、2025年11月以降の開発ロードマップにおいて、順次設計・実装が検討されている段階であり、現時点においては、正式なユーザー向けリリースには至っておりません。

3. ゴールドアセットトレジャリー戦略の構想

NSG および AGF を取り巻くトークン構造の進展を受け、当社グループでは、これらを活用した「ゴールドアセットトレジャリー戦略」の構想を掲げております。

本戦略は、実物資産との連携性を持った暗号資産を単なる保有資産とするのではなく、将来的には企業財務や経済圏流動性の一部として活用する可能性を視野に入れたものです。

現時点では、以下のようなステップを含むユースケースが当社グループ内で検討されております。

- ゴールドアセットとの交換スキームの方向性に関する議論
- バックエンドでの証明連携や更新頻度に関する技術検討
- DEX・CEX を通じた流動性基盤の構築案の策定
- DeFi やステーキングなど資産性の活用方法に関する仮説設定
- 他アセット（株式・ETF 等）との連携性検証の初期調査
- 地域別（中東・中央アジアなど）との決済接続に向けた構想
- 当社による実物ゴールドの取得と、対応トークンとの交換を前提とした運用モデルに関する検討
- 本エコシステムを\$NYAN の市場買付に係るリクイディティプール資金として活用する方向性に関する構想策定

なお、これらは、現時点では構想段階であり、今後の市況や開発進捗を踏まえ、事業戦略としての最終判断を行ってまいります。

4. 中長期ビジョンと今後の位置づけ

当社グループでは、GYAN BLUE（\$NYAN）エコシステム全体の成長において、AGF・NSGが“リアル資産に裏付けられた信頼性の高いデジタル資産”としての役割を担うことを想定しております。

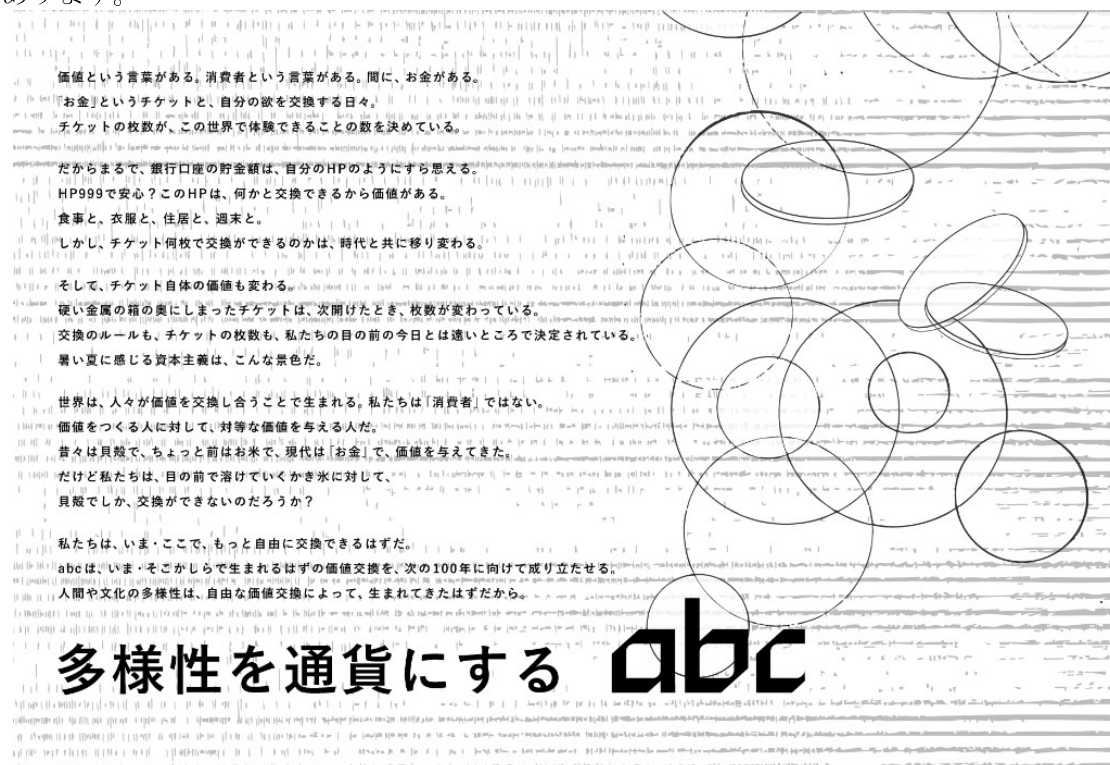
また、当社が掲げる「1兆円相当の暗号資産保有構想」においても、NSG・AGFは将来的な主要構成アセットの一部となり得るものとして、制度設計や財務連携の観点から検討が進められております。

NSGは今後、\$NYANと並ぶ安定通貨的なポジションを担い、DAO経済圏の中核的な基軸資産としての活用可能性も期待されております。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。

「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。

チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。

だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。

HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。

食事と、衣服と、住居と、週末と。

しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。

そして、チケット自体の価値も変わる。

硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。

交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは違いとところで決定されている。

暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。

世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。

価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。

昔々は貝殻で、ちよと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。

だけど私たちは、目の前で溶けていくお米に対して、

貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。

abcは、いま、そこがしらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。

人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上